

わひとて自由にふら入てあへも抱てきぬ
免えぬりあつてやとていひく
一きる限りいとをこなげまひこ入
て屋しあや竹ととれたあかたきとある
は子をえつけくは小竹とるにぬ一我
へだてくよこをよこ、縁あるたきをみ
けらぬる、さなわぬかしてたきあやう
くゆたふ小ぬ折は児や志る小種り
すましくも折のきりぬらまきる三月
そりま折る程にすき種ある人あわ

ぬまは幾河をあとさう一てぬ、あげこ
このきひちやう乃らうわも出さひい
所き茶一なぬ山児のうらちあえり
折るこ、世よあく原若うちとく、死所
あまひ、わみちたわたき折、あしえ
らる一死時もある子、えまい、らる一死
可もや、ぬらう、まきもあく、あ
見くら、あ竹ととる事、久く成ぬ、いまをい
まう、乃もの、成小、わ世子、とが、折に
成ぬ、折え、あ、ぬら、むらと、い、む、へ、乃、あ、きた